

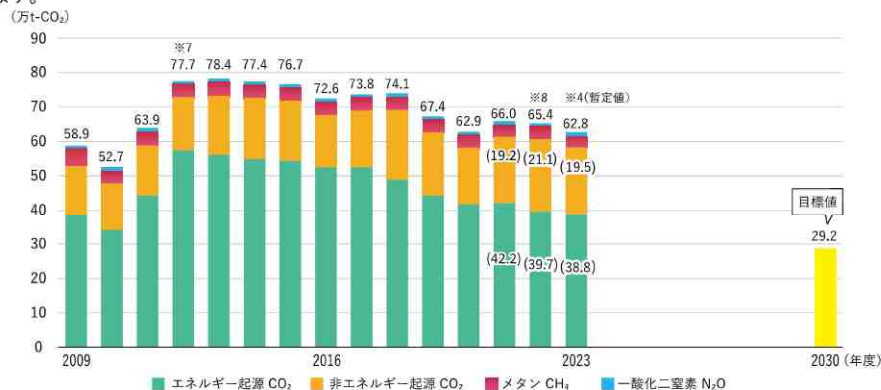


温室効果ガス排出量

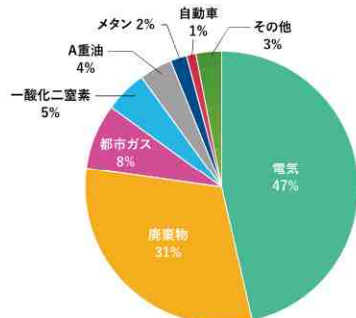
2022年度の札幌市役所の事務事業における温室効果ガス排出量(確定値)は65.4万t-CO₂となり、2021年度と比較して、約1%減少しました。排出量のうち、電気やガスなどの使用に伴うエネルギー起源CO₂^{※5}は、39.7万t-CO₂となり、2021年度と比較して約6%減少しました。この減少の主な理由として、新型コロナウイルス感染症対策が緩和され、市有施設の施設稼働率が上昇したことにより増加した一方、穏やかな天候により冷房・暖房の使用量が減少したため、エネルギー起源CO₂が全体的に減少したことが考えられます。また、廃棄物の焼却などに伴い排出される非エネルギー起源CO₂^{※6}は21.1万t-CO₂となり、2021年度と比較して約10%増加しました。この増加の主な理由として、主に清掃工場における焼却ごみに占めるプラスチック量がコロナ禍の影響により増えたことが考えられます。

2023年度の札幌市役所の事務事業における温室効果ガス排出量(暫定値^{※4})は62.8万t-CO₂となり、2022年度と比較して約4%減少しています。排出量のうち、電気やガスなどの使用に伴うエネルギー起源CO₂は38.8万t-CO₂となり、2022年度と比較して約2%減少しています。廃棄物の焼却などに伴い排出される非エネルギー起源CO₂は19.5万t-CO₂となり、2022年度と比較して約8%減少しています。

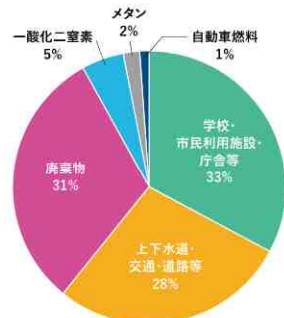
温室効果ガス排出量削減の目標を達成するため、新たな技術導入の検討など、省エネ対策や再エネ導入を推進していきます。



【図3 札幌市役所の事務事業における年間温室効果ガス排出量】※()内は内数です。



【図4 札幌市役所の事務事業における年間温室効果ガス排出量のエネルギー種別構成比(2023年度)】



【図5 札幌市役所の事務事業における年間温室効果ガス排出量の用途別構成比(2023年度)】

※4 2023年度実績である温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量については、2024年8月末時点の値を記載しています。

また、電気の使用に伴う温室効果ガス排出量は、当該年度における電力会社の調整後排出係数を用いて算出していますが、2023年度の係数は、2024年8月末時点において未公表であるため、前年度の係数を用いて算出しています。

※5 エネルギー起源CO₂とは、冷暖房や照明などに使用される供給された電気の使用に伴うCO₂と、燃料及び熱の使用に伴うCO₂のこと。

※6 非エネルギー起源CO₂とは、廃棄物の処理など、エネルギー起源CO₂以外のCO₂のこと。

※7 2011年3月に発生した東日本大震災を契機として原子力発電所が順次停止し、火力発電所の稼働が増加した結果、排出量も増加しています。

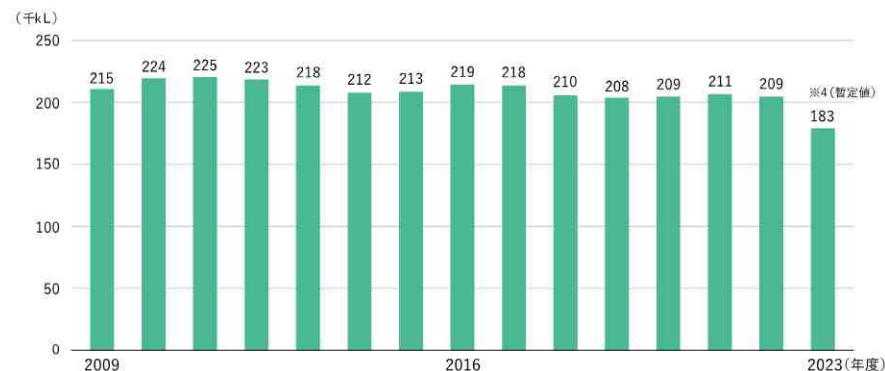
※8 集計データの修正により、2021年度及び2022年度の実績値を更新しました。



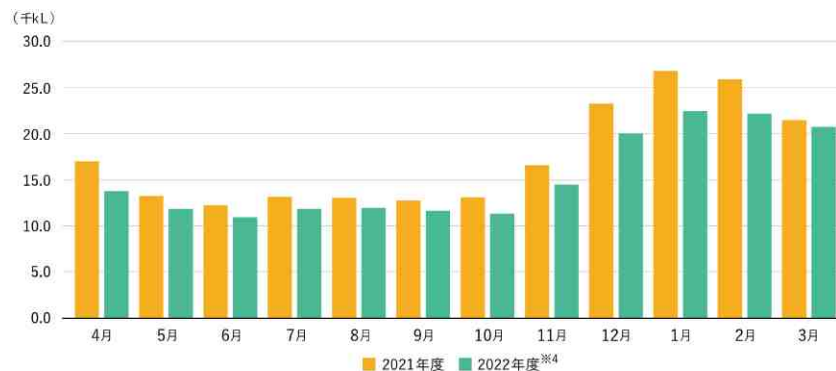
エネルギー使用量

2023年度の札幌市役所の燃料等使用におけるエネルギー使用量は原油換算で183千kLとなり、2022年度より約12%減少しています。

また、2023年度の札幌市役所の燃料等使用における月別エネルギー使用量は、特に冬期間においてエネルギー使用量が減少しています。



【図6 札幌市役所の燃料等使用における年間エネルギー使用量(原油換算)】



【図7 札幌市役所の燃料等使用における月別エネルギー使用量(原油換算)】